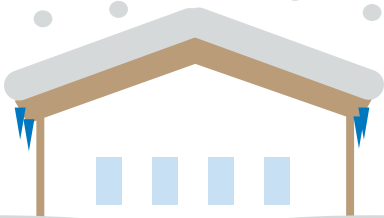


大雪や凍結の対策をとりましょう

今年も、本格的な冬が来る前に、大雪や凍結に備えて、各家庭で早めの準備をお願いします。
問い合わせ＝防災・危機管理課防災・危機管理担当（☎内線 415）、土木課維持係（☎内線 619）



1

情報を収集しましょう

テレビやインターネットの天気予報などで、降雪の予報が発表されたら、早めに準備を行い、降雪時は、不要不急の外出を控えましょう。

2

早めに準備しましょう

スコップや長靴など、除雪用品は積雪時には、入手が困難になることがありますので、事前に用意しておきましょう。

また、降雪時には、倒木や雪の重みで電線が切れ、停電になるおそれがあります。電気に頼らない暖房器具などを準備しましょう。



防災・危機管理課 安原主任

準備すると便利なもの（一例）

除雪時	スコップ、軍手・ゴム手袋、長靴
車の運転時	チェーン、脱出マット、ウォッシュャー液（冬用）、けん引ロープ、ブースターケーブル、スコップ、軍手・ゴム手袋、長靴
停電時	食料、水、カセットコンロ、電気を使用しない暖房器具



車を運転するとき

注意すること

運転時の降雪対策用品は、あらかじめ車に積んでおきましょう。また、タイヤの溝の深さやバッテリーの状態など、車両の点検をしましょう。

路面が滑りやすくなっているため普段以上に安全運転を心掛け、急ハンドル・急ブレーキは避け、車間距離を十分にとりましょう。

除雪時に注意すること

雪を道路に出すと、路面凍結や路面が凸凹状になり交通事故の原因になりますので注意しましょう。また、雪かきなどの際は、足元に気を取られてしまいますが、屋根からの落雪やつららの落下にも十分にご注意ください。

救急車などの緊急車両が通行できるよう生活道路の除雪などを行いましょ。また、高齢者世帯の自宅出入口や歩道などは、地域の皆さんで助け合い、除雪に協力しましょう。

雪解け後に注意すること

朝晩は解けた雪で路面が凍結し滑りやすくなり、転倒などのおそれが生じます。特に道路上の白線部は、薄い氷の膜ができて、滑りやすくなっている場合があります。

歩く時は、いつもより歩幅を小さくして、ゆっくり歩きましょう。また、通勤、通学の際は時間にゆとりをもって行動しましょう。

3

雪などの影響で気象情報が発表される場合があります

雪などに関する気象情報

大雪特別警報	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表されます。
大雪警報	降雪や積雪による住家などの被害や交通障害など、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。
大雪注意報	降雪や積雪による住家などの被害や交通障害など、大雪により災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表されます。
なだれ注意報	なだれによる災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。山などの斜面に積もった雪が崩落することによる人や建物の被害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。
着雪注意報	著しい着雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。具体的には、雪が付着することによる電線などの断線や送電鉄塔などの倒壊などの被害が発生する（気温0℃付近で発生しやすい）おそれのあるときに発表されます。

(参考：気象庁ホームページ)

4

除雪車の除雪作業にご協力をお願いします

除雪車は優先除雪区間を定めて除雪を行います。効率的な除雪作業を行うために、通行止め規制を実施する場合があるほか、作業の支障となる放置車両は、災害対策基本法により移動させる場合があります。

また、通勤や通学時間に間に合わせるため、深夜、早朝の除雪作業をすることがあります。除雪車からは皆さんが見えないことがあり、大変危険ですので、近づかないでください。



水道の凍結にご注意ください

水道が凍結すると、水が出なくなったり、水道管やメーターが破損したりします。水道管がメーターより民地側で破損した場合、使用者または所有者の費用負担になりますので、ご注意ください。

～ 凍結しやすい場所 ～

- ・屋外に露出している水道管、家の外にある給水栓
- ・日の当たらない場所や風当たりの強い場所にある、水道管やメーター
- ・ポイラー、給湯器

～ 凍結を防ぐためには ～

- ・メーターを保温するためにメーターボックスの中に発泡スチロールなどを入れる。
- ・水道管や給水栓を保温材や毛布、布切れなどでぬれないように包む。

問い合わせ＝工務課維持係（☎内線332）

